

2013、春学期、諸民族の音楽と文化、丸山、期末テスト概要

※60 分

※問題用紙回収

全 5 題

1、楽器の名称と説明の合致（記号問題）10～20 個ぐらい※「」部

（「グラスハーモニカ」、「びんざさら」、「ダフ」、「ピリンパウ」、「セタール」、「シタール」、「ケーン」、「三味線」、「尺八」、「バーンスリー」とか）

2、音律についての説明の用語穴埋め 10 個ぐらい※「」部

（「ピタゴラス」、2 本の弦の長さの比が「3:2」になる場合、2 本を同時にはじいて音を出すと、「2:1」のときほどではないが、うなりを含まないかなり協和した音響が得られる（完全五度）、「三分損益法」、「純正律」、「8 度」「5 度」「4 度」の三つだけが協和音程とみなされ、「イギリス人」「アイルランド人」の好みとか）

3、「音楽の起源」について自分の意見を 150～200 字で論述

4、「言葉と音楽」について 200～300 字で論述

5、「多様性を踏まえたうえでの音楽教育の在り方」について自分の意見を 200～300 字で論述